

## 中学校活動報告

積志中学校萩原分校

### (1) 活動内容

○ 学年 2年生 単元 助動詞 時間数 8時間

#### (1) 導入

英語の歌を歌う。生徒には歌詞を渡し、声に出す練習をさせた。

#### (2) 活動 「話す活動」

英文の練習をする。音声を聞いて、後に続けて読む。

基本文の言い方を練習するだけにとどめず、自分のアイディアを言わせた。

#### (3) 「書く」作業

習ったことを生かして紙に書かせ、掲示する。

#### (4) どの領域で行なったか：「書く」「話す」領域

#### (5)工夫点

ただ漠然と学習するのではなく、コミュニケーションを意識した練習をした。

例えば、「お店の店員になったつもりでセリフをいう」、「地図を見て場所を案内する」など知識を活用し、ことばのやりとりにつながる工夫をおこなった。

### (2) 成果・課題

#### ①成果

「聞く」活動、「書く」活動に多くの生徒が取り組むようになった。

英語を使ってコミュニカティブなとりくみができるようになった。

#### ②困っている点や課題

児童自立支援施設にある学校のため、学習指導要領どおりに授業をすることができない。具体的には生徒の理解度を考えると英語で「話す」こと、「聞く」ことが難しい。また話し合い活動をすることはきまりで制限されており、先生と生徒の1対1のやりとりをした。以下に、具体的に列挙した。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 4技能の指導は無理（生徒の理解度から）</li><li>・ 教科書や教材と苦手な子の学力のミスマッチ</li><li>・ 嫌になる子は、授業の邪魔、妨害をする。</li></ul> <p>したがって、まず静かに座らせる、教科書を用意する、プリントは丸めず、ファイルに閉じさせること等、当たり前のことを徹底する。これも大変</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 能力的に生徒の力に合わない</li></ul> |
|--|---|

